



むら た あき ひさ
村 田 彰 久

しみんくらぶ
市民クラブ

公用車の交通事故について

問 公用車の交通事故が減らない状況が続いているが、この状況をどのように認識し受け止めているのか。また、今後の指導はどのようにするのか。



答 交通事故の大半は、個々の注意力や集中力の欠如によるところが大きいことから、安全運転に係る指導及び意識付けを行うため、毎年度当初には新規採用職員に対し、また、秋には公用車を運転する全職員を対象とした安全運転講習会を実施しているが、現状としては、依然として多くの交通事故が発生しており、重く受け止めている。

今後は、交通事故を起こした職員のうち過失割合の高い職員については、これまでの研修・講習会に加えて、津警察署の交通官による特別講話や三重県交通安全センターが主催する各種シミュレーター及び実車を使った体験型の交通安全研修を受講させるなど、安全運転の意識向上を図っていきたい。

●その他の質疑・質問●

- オープンデータについて
- 職員研修について
 - ・不祥事が続くが、今後どのようにされるのか
- JR名松線について
 - ・今後の取り組みについて



▲一向に減らない公用車の交通事故に対しさらに注意喚起を



やま ざき まさ ゆき
山 崎 正 行

しみんくらぶ
市民クラブ

台風第11号の被害状況と河川の浚せつ効果は

問 8月の短時間ゲリラ豪雨で市内各所が甚大な被害に見舞われたが、波瀬川の河川しゅんせつの効果について尋ねる。

防災・減災の観点から、今後も継続して、国へ河川しゅんせつの要望をし、また、特に県管理河川の護岸整備としゅんせつについて、県に強く要望されたい。

答 波瀬川のしゅんせつについては、昨年度、国土交通省三重河川国道事務所において、雲出川との合流点から一志町井関地内の山本橋付近までを河道掘削し、直轄河川全域のしゅんせつが完了した。今回、室の口雨量観測所における累積雨量は、しゅんせつ前の平成24年の台風第17号の際の2倍近くであったにもかかわらず、波瀬川の下川原橋水位観測所における水位はほとんど差がなく、しゅんせつにより水位の上昇を抑えられたと思われる。また、波瀬川上流部の県管理河川については、護岸が老朽化しており、堆積土砂も多くみられることから、8月に市長が知事との対談において直接、要望を行ったところである。地元の要望も踏まえ、今後も県に対し強く働きかけていきたい。

●その他の質疑・質問●

- とことめの里周辺整備関連
 - ・一志中学校の改修状況は
 - ・消防署一志分署の移転跡地に交番の設置検討を
- 学校・公共施設のトイレ改修について
 - ・トイレ環境のさらなる改善を
- 消防団協力事業所について
 - ・行政のサポートの充実を
- 橋の修繕計画について
 - ・早期に計画の実施を など



▲土砂災害に見舞われた家屋の復旧作業を行う近隣の皆さん